

# 同志社大学英文学会

## 2008年度年次大会および総会

日時：10月26日（日）13:00～17:10

場所：同志社大学今出川校地 明德館1番教室・ラウンジ

受付：12:30～（明德館1番教室前）

開会の辞（13:00～）

会長 中井 悟

年次大会（明德館1番教室）

研究発表（13:10～13:45）

司会 勝山 貴之

Lady Gregory の *Dervorgilla* における「歴史的悪女」の表象

京都医療センター付属京都看護助産学校非常勤講師

浅沼 恵

講演（13:45～14:25）

司会 白井 雅美

多文化社会と作家たち——北アイルランドとオーストラリアでの作家へのインタビューと翻訳活動から

本学文学部准教授

下楠 昌哉

————— 休憩（35分）ラウンジにて —————

特別講演（15:00～16:30）

司会 塩尻 恭子

日本のシェイクスピア表象——漫画、映画、舞台を通して

東京大学大学院総合文化研究科准教授

河合 祥一郎

総会（16:30～17:10）（明德館1番教室）

司会 菅原 真理子

諸報告

会長 中井 悟

役員改選

閉会の辞

大会準備委員長 塩尻 恭子

懇親会（18:00～20:00）

司会 山口 賀史

会場：京都センチュリーホテル1階 豊明の間(Tel. 075-351-0111) <京都駅ビル東隣、地下鉄5番出口> 会費：6,500円

### 特別講演者紹介——河合祥一郎（かわい しょういちろう）

東京大学大学院総合文化研究科准教授。シェイクスピアを中心とした英国ルネサンス研究者。主な著書として『謎解き「ハムレット」』（三陸書房）、『ハムレットは太っていた！』（白水社、サントリー学芸賞受賞）、『「ロミオとジュリエット」——恋におちる演劇術』（みすず書房）、『謎ときシェイクスピア』（新潮選書）、『シェイクスピアの男と女』（中公叢書）、主な訳書としてC. ウォルター・ホッジズ『絵で見るシェイクスピアの舞台』（研究社出版）、『ピーター・ブルック回想録』（白水社）、ジョン・アップダイク『カートロードとクロードディアス』（白水社）、スティーヴン・グリーンブラット『シェイクスピアの驚異の成功物語』（白水社）、F・カーモード『シェイクスピアと大英帝国の幕開け』（講談社、監修）の他に、角川文庫の「新訳」シリーズで『ハムレット』、『ヴェニスの商人』、『ロミオとジュリエット』、『リチャード三世』を、白水社からは『エドワード三世』、『二人の貴公子』を訳出。また創作にも意欲的で、『リチャード三世』を狂言の手法で翻案した『国盗人』は、2007年に野村萬斎主演・演出で上演。

○懇親会出欠のお返事は10月17日（金）までお願いいたします。

懇親会費は当日会場でお支払いください。

○今年度の英文学会費年額5,000円を未納の方は同封の振替用紙でお納めください。

納入された方には発行され次第刊行物をお送りいたします。

○当日はラウンジにて、ジュンク堂書店京都外商部、丸善、南雲堂の各社が出版物

の展示をいたします。

○問い合わせ・連絡先：〒602-8580 京都市上京区今出川通鳥丸東入

同志社大学文学部研究室事務室内 英文学会事務局(Tel. 075-251-3740)